

シリーズ講座「ひきこもる人々とその家族への理解を深めその支援を考える」第 4 回

企画：一般社団法人日本臨床心理士会（ひきこもり対策検討班）

1. **研修主旨**：「ひきこもり」は、思春期・青年期から壮年期にわたる長期的な問題として存在しており、その支援には、教育・保健・医療・福祉・労働の各領域からの包括的な取り組みが求められています。研修では、概念や論点の整理を行い、支援の現状と課題について実践家よりお話を伺い、効果的な支援を進めるために、支援者の役割について知見を深めることを目指します。
2. **日時**：平成 27 年 3 月 1 日（日） 10：30～16：30
3. **会場**：(財) 日本心理研修センター研修室（地図参照）
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8-201
4. **参加費**：会員・院生 6,000 円 非会員 7,000 円
5. **募集対象・人数**：臨床心理士・大学院生 定員 50 名
6. **テーマ等**

4	3/1 (日)	7) 高齢化するひきこもりと家族のライフプラン 要旨：ひきこもりが長くなっている人たちが親なき後まで見通して生活を考えてゆけるようなライフプランを研究している立場からお話いただきます。	柳澤美由紀 (一級ファイナンシャル・プランニング技能士・株式会社家計アイデア工房)
		8) 当事者・家族から求められる支援者像とは ～回復者・家族からのメッセージ～ 要旨：ひきこもり支援者は、臨床心理士、保健師、訪問看護師、医師から、NPO、家族会、当事者によるものまで多様です。支援者の職種や考え方によって、支援効果が違うことが分かっています。臨床心理士は仲良くなりすぎるという欠点がある一方で、集団心理療法や医師らとの協働のなかで大きな成果をあげられる立ち位置にあります。ひきこもり外来での臨床経験と家族会や当事者へのアンケートから、どのような支援者が求められているのか考察します。	中垣内正和 (医療法人佐潟荘 精神科医)

7. **研修ポイント** 2ポイント

8. **申込方法**：①および②をお願いします。

①週日 10:00～17:00 に電話で空席の有無をご確認の上、予約してください。

電話番号：03-3817-6801 事務局

②郵便局の振り込み用紙に、以下の各項目を全て記載して、受講料（会員・大学院生 6,000 円、その他 7,000 円）を申込日より 2 週間以内に振り込んでください。

(なお、納入された受講料は返還いたしません。)

○講座名「ひきこもる人々とその家族への理解を深めその支援を考える」第 4 回

○ご氏名・臨床心理士番号・連絡先電話番号・ご所属

○口座番号 00110-7-413679

○口座名称 一般社団法人日本臨床心理士

一般財団法人 日本心理研修センター地図

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-8-201

